

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 学校法人 就実学園	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 703-8516 岡山市中区西川原一丁目6番1号
----	--------------------------	----	--

本票作成 部署名： 学園本部

主たる業種	分類コード	81	業種名： 学校教育
-------	-------	----	-----------

事業の概要 大学（大学院含む）、短期大学、高校、中学校、小学校及びこども園（幼稚園・保育所）を保有し、学生、生徒及び児童合わせて約5,550人、教職員数約640人である。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）	岡山市中区西川原一丁目6番1号
	②	弓之町校地（中学、高校）	岡山市北区弓之町14番23号

特定事業者の該当要件  ①燃料等原油換算1,500kℓ以上  ②バス・トラック100台、タクシー250台以上  ③CO<sub>2</sub>換算3,000t以上  
(●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 28 )年度排出量	目標年度(平成 28 年度)
	4,379 t CO <sub>2</sub>	4,436 t CO <sub>2</sub>	4,248 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28 )年度排出量
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）	3,579 t CO <sub>2</sub>
	②	弓之町校地（中学、高校）	857 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 26 年度 ～ 平成 28 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 28 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	0.4 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 28 ) 年度	目標年度
		56.21 t CO <sub>2</sub> /千m <sup>2</sup>	55.97 t CO <sub>2</sub> /千m <sup>2</sup>	54.52 t CO <sub>2</sub> /千m <sup>2</sup>

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

基準計画3年間の最終年度であるが、結果は残念ながら目標未達となった。理由としては、前年度までの2年間は目標を達成していたが、当年度は西川原校地の校舎建替えに伴い一時的に延床面積が大幅に減少（校舎の取り壊しと仮設校舎設置）したことにより、逆に原単位が9%と大きく増えたことが挙げられる。校舎竣工後（次年度）の原単位はほぼ目標値（年平均1%減）に近くなるものと考えている。

**【推進体制】**

平成21年度に学内に省エネルギー対策推進本部を設置し推進している。大学・短期大学及び高校・中学・小学校にそれぞれ省エネルギー対策推進委員会を置き、エネルギーの管理、設備の改廃計画、啓発活動等を行っている。  
平成26年度に特定事業者になったことから、更なる管理推進体制の強化に取り組んでいる。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(H28年度実施分) 1. 西川原校地	(H28年度実施分) ・大学：エアコンの更新（2台、CO2削減量3t/年） ・大学：校舎の建替え（高効率エアコン・照明の採用） ・大学：受変電設備の更新 ・大学：各校舎の電力デマンドが監視できるようモニター設備を設けた。
2. 弓之町校地	・高校：エアコンの更新（2台、CO2削減量3t/年） ・高校：高効率照明（LED）への更新（水銀灯1kW×20本、CO2削減量9t/年） ・高校：受変電設備の更新
(今後実施予定分) 1. 西川原校地 2. 弓之町校地	(今後実施予定分) 1. 校舎の建替えに際しては、エアコン等はトップランナー機器を採用する。その他省エネに配慮した設計とする。 2. 照明取替えの際は高効率タイプ（Hf、LED等）を採用する。 3. デマンドコントローラー及びモニター活用による待機電力の調査及び削減に取り組む。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・各施設での省エネパトロールの実施
- ・エレベータ間引き運転の実施
- ・大学各校舎の電力デマンドモニターの活用による省エネの見える化と推進を図りたい。